

おぐに



2004

1

NO.591

● 広報

賀正



昭和29年当時の役場

今年は町村合併50周年



こんな小国町に
なればいいなあ



小中高一貫教育研究発表会

— 白い森子ども議会から14の提案 —

11月22日、小中高一貫教育研究発表会において、白い森子ども議会が開催されました。今年で2回目を迎える白い森子ども議会には、町内全小中高校から児童生徒約600人が集い、県内外の関係者と保護者ら約350人が見守る中で、「白い森学習」で学んだことを基に、町の将来像などを発表しました。そこで今回は、子ども議会での提案を紹介します。

提案 1

ほたるの住む沖庭の
自然環境を守ろう
本間新平君、今 那月さん、
佐藤 拓君（沖庭小六年）

私たちの住んでいる沖庭地区には、ほたるがたくさんいます。ほたるが住む環境を守ることは、自分たちの住んでいる自然環境を守ることに繋がると 생각합니다。

ほたるが減らないように、川を汚したり、水路をコンクリートなどで固めないでほしいです。

提案 2

森林で働く人と
森との関わり
齋藤玲子さん（白沼中二年）

水を育み、災害や地球温暖化を防ぎ、炭焼きや林業など、私たちの生活を支えてきた森林の働きを忘れてはならないと思います。

森林環境を守ることは、地球の環境問題の解決にもつながるかもしれません。

森林を守るため、できることから行動を起こし、世界の

提案 3

ふるさと再発見
～北部の自然を守れ～
伊藤和貴君、佐藤沙織さん、
舟山雄登君、山口里奈さん
他八名（北部小六年）

人たちに訴えていくことが大切だと思います。



学校林の手入れ（白沼中）

私たちの地区を流れている荒川は、今でもイワナやヤマメなどが住んでいるとてもきれいな川です。ただ、残念なことに生活排水で汚れているところもありました。道路もゴミで汚れています。

ふるさと財産である豊かな自然環境が守られるよう、ふるさと再発見の活動を続け

提案 4

ボランティア
～わたしたちにできること～
熊谷彩さん、本多健太郎君、
近佐和子さん（小国小六年）

老人ホームの訪問体験をとおして、人に何かすることは自分のためになることを学びました。

お年寄りや小さな子ども、体の不自由な方が集えるサークルなどを作れないでしょうか。身近なところから自分達でできるボランティアを探して、取り組んでいきたいと思っています。

提案 5

発見！探検！
体験！小国町！
齋藤築君、小関大輝君、
飯澤智宏君、宮嶋颯君
（小国中一年）

小国町を流れる一級河川の荒川と横川の三カ所で水質調査を行いました。きれいな川とされている小国町の川ですが、下流に行くにしたがって

ていきたいです。

汚れが目立ちました。
 においや川の透明度を調べた結果、生活排水などで川を汚さないように、一人ひとりが気をつけて生活していくことが大切だと思いました。



全校クリーン作戦（伊佐領小）

提案 6

住みよい伊佐領をつくろう！
 ～ぼくたち・わたしたちに
 できること～

伊佐領小五・六年生

お年寄りにとって住みやすい環境とは何か、住みやすい伊佐領にするにはどんなことをすればよいのか、アンケート調査を行いました。その結果、お年寄りが安心して生活

できるように、建物や道路などの段差をなくし、ふれあいの場を設けたりすることを地域全体で取り組むことが大切だとわかりました。

提案 7

小国町の食の特産品と
 グリーンツーリズムに
 ついての一提案
 井上広樹君（叶水中三年）

横川ダム湖畔を活用したグリーンツーリズムを進めていくべきだと考えます。そのために、地元の人が運営する組織（仮称・叶水自然活用センター）と、公設民営型の複合施設を作り、滞在者を受け入れる環境を整備することを提案します。

インパクトの強い特産品の開発とインターネットなどでの宣伝にも力を入れていくべきだと思います

提案 8

築け！地域循環型社会
 齋藤加奈子さん
 （北部中三年）

町で栽培した野菜を町内で

販売・消費することを提案します。これにより、消費者は安くて安全な野菜を食べることができるようになり、生産者も意欲を増すことができると思います。

また、小中学生が栽培・販売に参加することで農業のイメージを変え、後継者不足の解消にもつながると思います。さらに、生ゴミを肥料に再利用するようなシステムづくりを進めるべきだと思います。

提案 9

森と福祉の町づくり
 飯澤祐太君、鈴木智尋さん、
 木村亜由美さん、今盛香織さん
 （小国高三年）

森林資源を活用した特産品の開発やイベントの企画、福祉施策対策の充実を提案します。

小国町の森林資源の活用策を募集し、新しい特産品の開発と宣伝に取り組むことが重要だと考えます。

また、住みよい町を実現するために、安心して子育てができる環境の整備と、バリア

フリーに配慮した福祉施設の充実を図っていくことが大切だと思います。

提案10

少子・高齢・過疎化対策
 を考える
 舟山弘樹君（小玉川中三年）、
 本間美聡さん、横山咲子さん
 （小玉川中一年）

自然体験ができる施設を考え、小国町に暮らしたい人がいたら土地や家を提供することを提案します。

また、地域の良さを活かした地場産業をつくり、若い人の働く場を確保することや、全国からお年寄りが集まるグループホームを作るなど、バリアフリーのまちづくりも大切だと考えます。

提案11

放置ごみ^{ゼロ}を目指して
 川村吉昭君、舟山嘉樹君
 （玉川中三年）

きれいなまちづくりのひとつとして、放置ゴミの多い場所看板を立て、プランターを置いて花で飾るなどモラル



放置ゴミを確認（玉川中）

の向上を促すことが必要です。また、ゴミを捨てた人に高額な罰金を課す町の条例を作ることも考えなければいけないと思います。

提案12

自然を活かしたまちおこし
横根スキー場改造計画

木口友里恵さん
（小国高一年）

横根スキー場をもっと拡大し、リゾートホテルや健康テーマパークを作ることを提案します。

夏にはグラススキーをできるようにするなど、白い森の国の自然を活かしながら、四

季を通じたイベントを開催し、年間を通して観光客を誘客することが大切だと思います。

提案13

町全体で子育てを

伊藤麻衣子さん
（小国高一年）

安心して子育てができるように、育児についての専門の広報を作ることを提案します。

子育てに関するお年寄りの知恵や子どもが病気になったときの病院紹介など子育てに関する様々な情報を提供します。また、子育て支援センターに行きにくい人のために、メールでの相談窓口があれば便利だと思います。

提案14

2020☆小国町大改造
Before After☆

長浜彩香さん、齋藤詩央里さん
（小国中三年）

小国町にファミリーサポートの組織をつくることを提案します。

これにより、子どもが風邪や保育園が休みのときなど安



白い森子ども議会の様子

心して働きに行くことができると思っています。また、子育て中のお母さん方が気軽に集まり、遊ぶことができる場を提供して、子育てがしやすいまちづくりをめざすべきだと思います。

小中高生のプロジェクト チームが企画運営

白い森子ども議会は、町内の各小中学校、小国高校の代表二十四名からなる白い森子ども議会プロジェクトチームが企画・運営にあたりました。メンバーの一人である小国高

校三年生の井上さやかさん（北）に話を聞きました。「本番当日まで四回ほどプロジェクト会議を開催し、分科会の役割分担など小中学生と一緒に取り組んできました。各校の発表から、今まで気づかなかった小国町の魅力を知ることができました」

芽生える

地域学習の成果

小中高一貫教育推進協議会長である目黒孝雄教育長に、白い森子ども議会を次のように振り返っていただきました。「小中高と学年が進むにつれて具体例をあげるなど内容に深みが増してきているように思います。」

地域学習をとおして、子どもたちは着実に地域に目を向けてきているようです。

問題解決能力やプレゼンテーション能力など、時代が求める『生きる力』を育むため、これからも多様な学習活動を小中高連携の中で取り組みたいと思います」

新しい年を迎えて

小国町長 小野精一

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申しあげます。

我が国の社会経済環境は、持ち直しに向けた動きは見られるものの、地域経済の情勢

PTA活動に尽力

長年にわたりPTA活動に尽力された今國幸さん



今國幸さん

(若山)に、社団法人日本PTA全国協議会よりこのほど感謝状が贈られました。今さんは、平成四年度に沖庭小PTA副会長に就任。以来十二年度からは小国中PTA会長、西置賜地区PTA会長、県PTA理事、町PTA連絡協議会長などの要職を歴任されました。

また、本年度からは、小国高校PTA副会長として活躍されています。今さんは、「皆さんのおかげで名誉ある賞を受賞できました。これからも学校と家庭、そして地域の橋渡し役をしていきたいと思います」と語ってくれました。



展開してまいりました。さて、迎えた新年は、新町「小国町」が発足して五十周年の節目を迎えます。昭和二十九年に一町二村が合併して以来、先人の皆さん方が今日の「おぐに」を築いてくださいました。

私は、この美しいふるさとを後世に引き継ぐため、町民と民間と協働し、協創しながら、景気雇用対策、産業の活性化、地域の再生などの課題に取り組み、地域環境と共生する「白い森の国」づくりをすすめてまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

駅前ロータリーが

供用開始

新しい「街の顔」が誕生

小国駅前ロータリーが昨年十二月十三日から、新しい町の玄関口として利用されています。

駅前ロータリーは、車のスムーズな流れを確保するため、JA側からの右回り一方通行としました。また、周辺には右折レーンや横断歩道を新たに設置し、車道と歩道の段差解消なども図られました。多くのかたがたに親しまれる新しい「街の顔」として利用されることが期待されます。



新しい北部小中学校の体育館が完成



外 観



体育館アリーナ



竣工式典では全校合唱を披露

昨年3月から建設を進めてきた北部小中学校（横山稔校長、児童生徒数91人）の体育館がこのほど完成しました。

今回の改築工事では、玄関、ホール、湯沸室、更衣室、外来者用駐車場が新たに整備されたほか、学校の授業や部活はもとより、地域の体育・文化活動の拠点として多くの皆さんが利用できるよう配慮されました。

竣工式典は、12月18日に新しくなった体育館で行われました。

■工 期

平成15年3月24日～
11月28日

■総事業費

1億8,570万3千円

■延床面積

663m²

■構 造

鉄骨造平屋建

小中高一貫便り



vol.19

アメリカへの修学旅行

～現地高校生との交流～

小国高校では、小中高一貫教育で取り組んでいる国際理解教育の一環としてアメリカへの修学旅行を実施しています。（三年目、一年目はニューヨークのテロにより中止）

今年は十一月六日～十日まで三泊五日の日程で、二年生六十一名がロサンゼルスに行ってきました。サンタモニカ、UCLA、ハリウッド、ディズニーランドなど多くの見学地を回ってきました。今年の特徴として挙げられるのが、約七割の生徒が現地ベニス高校との交流会が印象に残ったと答えていることです。フラダンス、マーチングバンド、日本語による歓迎を受け、本校からは渡部淳君の英語によるスピーチ、ビデオでの学校紹介、さらにジャグリングを披露しました。その後、グループに分かれてベニス高



本年度の修学旅行より

校の生徒とジェスチャーを使いながらも、英語でコミュニケーションを図り、多くのことを学ぶことができました。生徒の感想に、「皆明るく、積極的に話しかけてくれた」「折り紙を教えたなら興味を持ってくれた」、「ベニス高校生ともっと会話できるように英会話を勉強しておくべきだった」などがありました。「国際人」としての小国高校生をめざし、来年度はさらに実り多い修学旅行となるようにしていきます。

12月 定例議会

8議案を審議可決

十二月定例議会が、十二日から十七日まで開催され、平成十五年度各会計の補正予算のほか、小国町生活安全推進条例設定など八議案を審議可決しました。

一般会計に二億二千八百 五万六千円を追加

今回の補正では、十一月に開かれた臨時議会でも可決された給与条例の改正に基づいて、職員給与二千七百四十五万円を含む人件費を減額したほか、環境省が全額補助する「二酸化炭素排出抑制対策普及事業」が採択になりましたので、地球温暖化防止に関する啓発関連事業費として二千万円を

追加しました。

このほか、保育園の入園者増加に伴う小国保育園の運営費、民間保育園の委託料を増額しました。さらに、町内のきゅうり生産者の土壌残留農薬検査費用の一部を助成することとしたほか、沖庭橋架け替え事業や横川ダム湖岸線の整備事業などに伴う町の負担金と神明山公園の支障木伐採の経費を措置しました。

また、財政の健全化を図るため、公有林の整備のために借り入れていた資金を、新しく制度化された低利の施業転換資金に借り換えし、繰り上げ償還をすることにしました。これにより、約五千七百十萬円の財政負担を軽減しました。

この結果、補正後の一般会計予算の総額は、六十四億二千七百八十三万七千円となりました。

特別会計と企業会計に 四千四十万一千円を追加

国民健康保険・下水道・介

護保険・病院・老人保健施設事業の各会計にて補正措置が行われ、あわせて四千四十万一千円を追加しました。

病院事業会計の補正では、消費税の課税対象となる人間ドッグ事業などの収益増に伴う申告に誤りがあったため、平成十三年度と十四年度分の納税額二百九十八万七千円と納税遅延に伴う経費五十五万八千円を追加しました。

小国町生活安全推進条例を 制定

路上強盗や侵入犯罪、少年犯罪、インターネットなどの被害を未然に防ぎ、安全で住みよい地域社会を町全体で取り組むための条例を制定しました。

期日前投票の創設に伴い 特別職の給与条例を改正

公職選挙法の一部が改正され、「期日前投票」の制度が創設されました。この制度は、これまでの不在者投票制度に

期日前投票制度の概要

- 投票期間
選挙期日の公示又は告示の翌日から投票日の前日まで
- 投票を行うことができる方
投票日当日、仕事や旅行、レジャーなど、これまでの不在者投票の要件と同じです
- 投票場所
期日前投票所(小国町役場)

替わるもので、投票手続きが簡素化され、直接、投票用紙を投票箱に投函することになります。

この改正に伴い、期日前投票所に投票管理者及び投票立会人を配置する必要があり、その報酬額を定めるため、特別職の給与条例を改正しました。

人権擁護委員に 近みつ子氏

人権擁護委員に近みつ子氏(小国小坂町)が推薦されました。

●町長は九月定例議会以降の行政報告を行いました。主な動きは次のとおりです。

◇平成15年9月から12月までの町長の動静など

月 日	曜日	行 事
9月11日～19日	木～金	第5回小国町議会定例会
9月15日	月	第39回小国町高齢者顕彰式（町内）
9月24日～26日	水～金	山形県町村会研修（鹿児島県）
9月27日	土	山形おぐに会総会（山形市）
9月29日	月	おぐに白い森(株)取締役会（町内）
10月3日	金	町政懇談会（建設業組合）
10月6日	月	農作物異常気象対策本部会議（庁内）
10月7日	火	町政懇談会（箱の口地区）
10月8日	水	「緑の回廊」設定委員会（山形市）
10月9日	木	町政懇談会（幸町地区）
10月11日～12日	土～日	国民文化祭「白い森ワークショップフェスティバル」（町内）
10月13日	月	国民文化祭応援事業マルセル・マルソー公演（町内）
10月17日	金	小国高を語る会（町内）
10月18日	土	子育てシンポジウム（町内）
10月21日	火	山形県町村会第3回総会（米沢市）
10月28日	火	奥地産業開発道路全国懇談会（東京都）
10月29日	水	雇用対策本部会議（町内）
		西置賜行政組合議会全員協議会、本会議（長井市）
11月2日	日	白い森ふるさとまつり（総合センター）
11月3日	月	文化の日表彰式（総合センター）
11月6日	木	県知事との懇談会（山形市）
11月9日	日	火災予防パレード（町内）
11月12日	水	地域経済対策自治体協議会（東京都）
11月17日	月	置賜町村会臨時総会（川西町）
11月18日	火	山形県国有林野等所在市町村長有志協議会（山形市）
11月19日	水	治水事業促進全国大会（東京都）
11月20日	木	自治体消防55周年記念大会（東京都）
11月21日	金	2003東北国道協議会総決起大会・要望活動（東京）
11月25日	火	第6回小国町議会臨時会
11月26日	水	労働情勢懇話会（庁内）
11月28日	金	おぐに白い森(株)株主総会（町内）
11月30日	日	新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会南陽大会（南陽市）
12月1日	月	全国過疎地域自立促進連盟定期総会（東京都）
12月2日	火	全国治水砂防推進大会、道路整備の促進を求める全国大会ほか（東京都）
12月3日	水	全国町村長大会・地方自治懇談会（東京都）
12月4日	木	全国山村振興連盟臨時総会（東京都）
12月8日	月	東芝セラミックス(株)小国サイト関係者との意見交換会（町内）
12月8日	月	新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会、飯豊山系砂防促進協議会、横川ダム建設促進期成同盟会事業促進要望（新潟市、仙台市、東京都）
12月10日	水	

話題の ひろば

冬に備えて準備万全！

町岩地区で流雪溝清掃

流雪溝の点検・清掃活動が十二月十日、町岩地区で行われました。この活動は、町岩地区の八つの流雪溝組合で組織される町岩地区流雪溝組合連合会（砥石二雄会長）が主催したものです。

この取り組みは、冬期間、流雪溝を円滑に利用できるようにと三年前から始まりました。当日は、会員約六十人が参加。スコップでごみを取り除く清掃



作業を進めました。参加された皆さんは、安全に流雪溝を使うことを確認しながら清掃活動に取り組んでいました。

この人に聞く



バレーボールクラブあかしば
代表 今野美喜子さん

平成十五年度の社会体育優良団体として、『バレーボールクラブあかしば』が文部科学省より表彰されました。代表の今野美喜子さん（岩井沢）に話を聞きました。

「昭和六十一年に結成して以来、勝負にこだわりつつも、バレーを通じて健康づくりを楽

しんできました。現在のメンバーは、二十五人で、毎週土曜日に活動しながら町内外の各種大会に出場しています。これからも、バレー好きの仲間を増やしていきたいと考えています。また、バレー以外に料理や手芸など、仲間と交流を深めるのも楽しみです。生涯スポーツの楽しさを多くの方に広めながら、今回の受賞を機に新たなチームの歴史を仲間とともに刻んでいきたいと思っています」

農業委員会会長に

井上市郎氏



井上市郎氏（岩井沢）が、十二月二十五日に開かれた農業委員会総会で新しい農業委員会の会長に選任されました。このたびの改選は、農協推薦委員の渡部錬太郎前会長の退任に伴うもので、任期は平成十七年七月十九日までとなっています。

井上さんは、「農業を取り巻く情勢は依然として厳しいものがあります。これからは関係機関の連携を強化して、小国の魅力ある農業の情報を発信していきたいです」と就任の抱負を語られました。

寒さなんか蹴っ飛ばせ！

地区対抗児童ミニサッカー大会開催

地区対抗児童ミニサッカー大会が十二月七日、小国町民総合体育館で開催されました。

この大会は、今年で十回目を迎え、町内十地区から十四チーム、約百五十人の小学生が参加しました。八分間の試合時間の中、会場に詰め掛けた父兄の声援をうけ、選手たちはコートいっぱい駆け巡り、ゴールを狙っていました。

熱戦の結果、東部地区（叶水スポーツ少年団）が優勝し、準優勝には、南部Aチーム、三位には町岩東乙・町岩西チームがそれぞれ入賞されました。



ピアノとチェンバロの調べにうっとり

福田直樹ピアノコンサート開催

福田直樹ピアノコンサートが十二月一日、おぐに開発総合センターで開催されました。このコンサートは、多くの町民に生のピアノ演奏を聞いてもらおうと、福田直樹ピアノコンサート実行委員会（向田宏男代表）が主催したもので、今回で六回目の開催となります。

福田さんは、演奏の間に楽しく、わかりやすくクラシック音楽のお話を交え、名曲の数々を奏でてくれました。会場に集まった約百二十人の聴衆の皆さんは、ピアノとチェンバロの調べに聴き入っていました。

色鮮やかにのびのびと表現

加藤圭菜さん(小国中3年)愛鳥週間ポスター全国入選

財団法人日本鳥類保護連盟が主催する平成十六年度愛鳥週間ポスター原画コンクールにおいて、小国中学校三年の加藤圭菜さんの作品が見事入選されました。

このコンクールには、全国六千九十二校から八万七千二百一十一点が出品。加藤さんの作品は、山形県のコンクールにおいて特選（県教育長賞）を受賞し、全国大会へ応募していました。

加藤さんは「ウグイスと文字の色の調整に苦労しました。受賞の知らせを聞いたときはとてもうれしかったです」と話していました。



白くまのいも屋

今月は、電興株式会社ショッピングモールエコー店長伊藤喜美男さんにお話をうかがいました。



ショッピングモールエコー店内の様子

「当店は、昭和二十八年に旧東芝電興の生活協同組合として発足しました。昭和六十二年に現在の店舗を構えて今年で十七年目を迎えます。扱っている商品は、生鮮食品を中心に、生活雑貨、酒、家電製品、ファーストフード、各種燃料など、生活に必要なものはほぼすべて当店で揃えることができます。

また、今年から地元産のきのこ缶詰、地酒などを年間通じてお客様に提供できるように特産品コーナーを常設いたしました。地方発送も承っております。

「ご好評をいただいています。地元産の米やきのこなどの販売を通して、お客様に安全で安心な商品を提供できるよう心がけております。

当店では独自のポイントカードをつくり、お客様へサービスさせていただいております。また、毎週火曜日にはポイント二倍セール、週末には九十九円セールを実施していますのでぜひご利用ください。これからも『あなたの町の楽しいお買い物広場』をめざし、従業員一同皆様のご来店を心よりお待ちしております。」(☎62-3178)

編集後記

第四回やまがたふるさとCM大賞で、黒沢峠敷石道を題材にした小国町のCM作品が優秀賞を受賞し、年間百八十回YTSで放送されることになりました。CMにご出演していただいた保科充さん、鈴木善浩さん、鈴木綾香さんに感謝を申し上げます。(井上) 訂正とお詫び

先月号の「誕生おめでとう」は、「小畑昂明」さんの誤りでした。訂正してお詫びいたします。

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

東	原	渡	部	稜	介	勝
岩	井	沢	伊	藤	玲	津
小	国	町	大	久	保	子
岩	井	沢	丸	川	子	菊
緑	町	金	子	知	愛	子
岩	井	沢	西	浦	啓	英
小	国	町	大	津	希	子
小	国	町	渡	部	真	範
幸	町	齋	藤	翔	人	恵

結婚おめでとうございます。

増	岡	佐	藤	貴	夫
岩	沢	齋	藤	詠	美
舟	渡	塚	原	康	博
岩	沢	駒	沢	友	明
小	山	高	井	和	り
若	沢	渡	部	か	誠
太	岡	安	貫	誠	美
増	館	嶋	橋	由	史
兵	館	高	本	恭	奈
兵	町	國	木	香	宗
小	里	渡	山	時	美
国	沢	本	藤	恵	也
小	町	舟	部	和	理
越	町	齋	川	真	行
樋	沢	渡	藤	宏	美
小	町	藤	伊	由	芳
緑	沢	安	明	明	恵
岩	館	伊	恵		
兵					

おくやみ申し上げます。

白	子	沢	安	部	勇	(62)
小	国	町	小	林	改	(83)
緑	北	町	佐	藤	壯	(86)
伊	佐	領	後	藤	昭	(71)
小	小	町	伊	今	多	(83)
小	国	坂	金	藤	勇	(77)
折	小	町	今	山	る	(84)
増	国	戸	藤	上	ス	(94)
片	小	岡	貫	村	雄	(75)
沼	坂	貝	山	藤	せ	(90)
あ	町	沢	藤	木	たい	(93)
樋	の	沢	齋	齋	美	(74)
五	味	沢	伊	伊	コ	(88)
幸		町	鈴	鈴	江	(83)
					晴	(56)

人	口	男	…	4,963人	(-6)
		女	…	5,203人	(-1)
		計	…	10,166人	(-7)
世帯数				3,320世帯	(-4)
				平成15年 11月30日	

人口のこまき